

## 協議第25号

### 水道関係事業について

水道関係事業について承認を求める。

平成20年12月1日 提出

熊本市・城南町合併協議会会長 幸山政史

#### 水道関係事業について

- 1 城南町の地区営水道（簡易水道）については、町営化を目指し平成22年3月までに認可が取得できるよう努める。その事業は新市が引き継ぎ継続して取り組む。 ⇒継続審議
- 2 城南町中央地区簡易水道事業（町営簡易水道事業）については、平成25年度を完了予定とし熊本市に引き継ぐ。  
水道料金及び加入金は、合併時に熊本市の料金体系に統一する。
- 3 ~~未普及地域を含む上水道事業については、調査を実施し、その後10年程度の計画を策定し平成21年度までに事業認可を得る方向で努める。その事業は新市が引き継ぎ継続して取り組む。~~  
~~なお、整備にあたっては水質悪化地域の整備を優先的に進めていくこととする。~~  
未普及地域を含む上水道事業は、城南町で、平成21年度までにおおむね10年程度での整備完了を目指した計画の策定と国庫補助事業の認可取得に努め、合併後は新市がこれを引き継ぐ。  
なお、水質悪化地域の整備については、優先的に取り組むこととする。  
⇒継続審議

平成21年1月29日

原案承認 ・ 修正承認 ・ 継続審議  
(一部)

※上記のうち1. 3. については継続審議、2. については原案承認

# 熊本市・城南町合併協議会 事務事業調査票

作業部会名： 水道部会

協議項目	水道関係事業	小項目名	2 町営簡易水道事業
協議内容	①城南町中央地区簡易水道事業を平成 25 年度まで国庫補助を受けて施行することについて。 ②簡易水道事業と上水道事業の水道料金統一の時期について。		
合併協議会協議結果(調整方針)	城南町中央地区簡易水道事業（町営簡易水道事業）については、平成 25 年度を完了予定とし熊本市に引き継ぐ。 水道料金及び加入金は、合併時に熊本市の料金体系に統一する。		

制 度 比 較		
	熊 本 市	城 南 町
市 町 別 内 容	上水道事業 (H19 年度) 給水人口 655,150 人 一日平均給水量 221,625 m <sup>3</sup> 公称施設能力 290,500 m <sup>3</sup> 【平成 18 年度決算】 ・収益的収支 (収入)132 億 2 千万円 (支出)109 億 5 千万円 ・資本的収支 (収入) 20 億 4 千万円 (支出) 69 億 4 千万円 【平成 19 年度決算】 ・収益的収支 (収入)131 億 3 千万円 (支出)108 億 7 千万円 ・資本的収支 (収入) 31 億 7 千万円 (支出) 133 億 3 千万円 ※平成 19 年度の資本的収支が増加した理由は、企業債の繰上償還(約 43 億円)及び低金利への借換え(約 18 億円)によるもの。  一般的な家庭の水道料金(税込) 口径 13mm、1ヶ月に 29 m <sup>3</sup> (241ℓ/人・日の 4 人家族を想定)使用時の料金・・・4,032 円	簡易水道事業 平成 19 年度から平成 25 年度まで中央地区簡易水道計画給水人口 4,926 人 事業費約 20 億円 平成 19 年度決算 19,338 千円 平成 20 年度予算 429,047 千円   一般的な家庭の水道料金(税込) 口径 13mm、1ヶ月に 29 m <sup>3</sup> (241ℓ/人・日の 4 人家族を想定)使用時の料金・・・5,800 円 (城南町の町営簡易水道の最小口径は 13mmである。)
相違点と課題	・城南町の水道は、上水道事業はなく、19 地区の簡易水道事業からなり、内訳は 1 地区が町営で、その他の 18 地区は地区営(組合営)である。 ・水道普及率も熊本市の 98.07%(H19)に比べ、城南町は、約 30%と低い。 ・18 の地区営簡易水道事業をどのようにしていくのか。 ・また今後、上水道整備をどのようにしていくのか。	